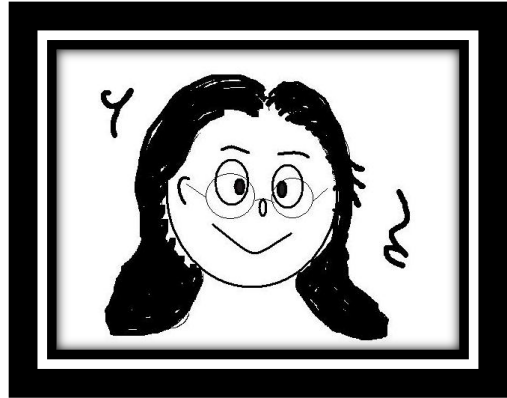


今回は“fp”がブームの  
♪さいちゃん♪に  
インタビューをお願いしました。



最近のコミュニティの発表会ではファリヤ作曲「火祭りの踊り」を  
ひたすら弾かれています。

(しばらく職場の強制行事で姿を見かけませんが)

そこで、曲への向き合い方などいろいろお話を聴いてみました。

### ～ ピアノが降ってきた ～

- コミュニティ(以下;コミュ)にメンバー登録されたものの、  
発表会に参加されるまでに時間が掛かったと以前おっしゃっていましたね。

コミュに入ったのは、発足直後だったと思います。  
まだ人数も4、5人ぐらいしか集まっていない頃です。

- それは相当早い時期ですね。

最初はずっとコミュを観察？

皆さんのコメントを読んでいるうちに、

「あっ！本当に活動しているんだ！」と思い始めました。

この頃は他のピアノサークルも探していましたが、

敷居が高かったり消滅していたり……。

長あ〜い観察を経て「ここだ！」と決めました。

- そうだったんですね。  
実際に見学にいらっしゃるのはまた更に後だと思うのですが、  
なにか入りづらいと感じさせるようなものがありましたか？

コミュのトップページには「初心者でも大丈夫です」と書いてあるんですが、実際の演奏プログラムは大曲ばかり。

「私なんか入っても大丈夫？」と、ずっと思っていました。

コミュは遠い存在で自己紹介に至るまでに一年…立派な幽霊会員です。

でも転職を機に「見学だけでも」、と思い行ってみることにしました。

-実際にいらしてみてもうでした？

まずとても参加している方の層が厚いなあと思いました。

大曲を弾く方から習い始めたばかりの方まで。

聴くだけでも十分楽しくて、「そのうち私も演奏したい！」と欲もでてきました。

-それはなにによりです。いつからピアノは始められたんですって？

小学2年生です。遅い！

きっかけは、父が会社の飲み会で

「この中でピアノが家にないのはお前の家だけだ」

と言われたらしいんです。

帰宅した父が眠っている私に「ピアノ欲しいか？」と聞いたら、「うん」と頷いたそうです。

- なんだか不思議なきっかけですね…。

翌日！なんと驚くことにピアノの折り込み広告が！

すぐ家族で店に行ってピアノを買ったんですよ。

もちろんメーカーも何も分からないので、見た目を選びました。

- ① 色が黒じゃない
- ② 足の部分が曲線

- なんとという行動力！

その後ピアノの先生を探し習うことに。普通と逆なんですよ、我が家って。

ところが、練習するにあたりいろいろ障壁が！

まず母が猛烈にピアノに熱中していてピアノを独占&占領

父が(ピアノを買ったはいいいけれど)ピアノの音色嫌いで残業嫌い

… 一日に20分くらいしか練習できない

土日も父がいるので勿論弾けませんでした。

- なかなか個性的なおうちですね…。

はあ。

それでいてレッスンは月曜という悲劇で、先生に怒られていました。

『練習してな〜い!』と。

しかも私が弾きたいのは、いわゆる珠玉の名曲にアニメソング。

でも先生は“原曲のエリーゼのために”をすっ飛ばす。憎々しい!

小学三年生の悲劇です。

当時ひっそりとした山奥に住んでいて、

さらに不幸なことに先生のお宅はうちの目の前。

いつも先生の耳を盗んでは練習したり好きな曲を弾いて……。

だんだんそんなピアノ生活に辟易してきました。

- そうでしたか。その後はどうされたんですか?

父の転勤に伴い一旦ピアノはストップ。『せいせいするわ〜』

母が(私曰くスパルタの)いい先生に習わせようと、

あちこち“のん気”に探しているうちに中学生に。

学校で吹奏楽部に入ることになりました。

部活は入らなければいけなかったし、

「音楽に触れていればまあいいか」と考えピアノは物置と化しました。

- 高校に入ってもピアノはあまり触らなかったのですか?

ピアノの上は物置かたまたま本棚か? 沢山物を置いていましたし、

受験で頭が一杯でピアノ駅通過あ。

大学に入るとピアノ部の友達が「演奏会に聴きに来て」と誘ってくれて、

そこでショパンのノクターン(Op.9-2)を聴いて感涙。。

「私もあの曲を演奏したいなあ」、それが再開のきっかけです。

- 先生には習わず?

はい。好きなように好きな曲を、時間をかけてもじっくり練習するのが楽しくて。

それでも大学時代に、体験教室で2か月ほど教わりました。

- そこで先生を見つけられたんですね。

いいえ、また引っ越しです。

個人の先生を探すのも難しいので、大手のピアノ教室をあたりました。

自由時間にグランドピアノが利用できる(1時間500円)ところに♪

アップライトとグランドではペダルの使い方も違うと本で読みましたし……。

そこは体験レッスンで気に入る先生がいたらその先生に習うというシステムで、

今も習い続けている先生にお会いしました。

- どんな先生ですか？

体を張って？使って教えてくれる、とても楽しい先生です。  
腕の使い方だけで同じ箇所を30分、ひたすら練習したこともあります。  
それと曲作りを大切にしている歴史もお好きで。  
曲の背景を考えるため、  
作曲家はどんな時代を生きていて、その時どんなところに居て、  
この曲はどう書かれたか……などを一緒に考えます。

- ちゃんとアナリーゼ(曲の分析)をされてるんですね！

最近アナリーゼにはまり過ぎて時間が足りないくらいです。  
この前発表会で弾かせていただいた「火祭りの踊り」はバレエ組曲です。  
どんな物語でどんなバレエなのか、オーケストラの楽譜はどうなっているのかと  
スコア(オーケストラの楽譜)リーディングも張り切っちゃいました。

- それである、臨場感あふれる演奏になるんですね～。  
ピアノでこんな演奏をしたい、とかはあるのですか？

ジーンズ姿で“お堅い曲”を弾くのが夢です。  
そうすれば、クラシックでも多くの人に親しんでいただけるのではないかと思います。  
教室の茶話会で、一度ジーンズを着て出たら怒られましたが……(苦笑)。

- 素敵な目標ですね！  
ピアノは楽しいものですし沢山のの人に楽しんでもらいたいですよね。  
お話どうもありがとうございました！

#### 編集後記

「のだめみたいって職場の人によく言われる」とご本人がおっしゃるのですが、  
本当に実に面白い方なので、  
私が文章にすると楽しさの半分も伝わらないなあと自分の筆力の無さを悔やみます。

お仕事でお忙しい方ですが、いらっしゃる折には懇親会などで話されることを超お勧めします。

---

今月号は如何でしたか？  
また次月もお楽しみに！

---

